高校生11人に奨学金

校條すみ基金が贈呈式

多治見

校條すみ学生奨学基金の目録を受け取る生徒＝多治見市本町、東濃信用金庫本店

「公益信託校條すみ学生奨学基金」の奨学金贈呈式が1日、多治見市本町の東濃信用金庫本店で行われ、東濃地域の高校生11人に奨学金が贈られた。同基金は1996年、同市虎渓町に住んでいた校條すみさんが資産の1億円を投じ、高校生の学資に役立ててもらおうと、同金庫が信託代理店となって設立された。校條さんは2011年11月に98歳で死去している。

東濃5市の高校在校生が対象で、1人当たり1年間12万円が給付され、設立20年目の今回の決定で給付者は計381人となった。

贈呈式では同基金運営委員長の渡辺哲郎多治見市教育長が奨学生一人一人に目録を手渡し、「校條さんの思いを忘れず、学業や活動に頑張ってほしい」とあいさつした。(高木俊徳)

無断複製・転載を禁じます